



The American Society for Cell Biology (ASCB) 2016 参加報告書

生命環境科学系 修士二年 矢島研究室 小磯 由里加

2016年12月3日～7日、「博士・修士学生のための国際研究集会渡航助成」の支援を受け、アメリカのサンフランシスコで開催された2016年度のThe American Society for Cell Biology (ASCB)に参加させていただきました。本国際学会は、細胞生物学分野での最先端の科学研究の発展の場であり、アカデミック、工業、社会、教育などの幅広い分野での交流を目的としています。

私にとって、海外への渡航、国際学会での発表は、今回が初めての経験でした。一人での長旅では、無事にたどり着けるのか、言葉は通じるのだろうか、何かトラブルがあったらどうしたら良いのか、そもそも国際学会での発表が自分にはできるのだろうか、不安ばかりを感じていました。しかし、アメリカ サンフランシスコに到着してしまうと、不安を感じる暇もなく、充実した数日間を過ごすことができました。特にサンフランシスコの街並みは美しく、とても感動しました。また、参加時期が12月だったこともあり、街中がクリスマス一色でした。

学会での発表は、「The function of the basal body microtubules associated with intraflagellar transport (IFT)」というタイトルで、ポスター発表を行いました。細胞のオルガネラの1つである繊毛を形成する仕組み (IFT) に関する研究を報告しました。非常に大きな国際学会とだけあって、近い分野の研究者も多く、何人もの方が私の研究に関心を持ってくださり、貴重な意見を多く聞くことができました。国際学会へ参加し、発表し、様々な国の研究者と交流して学んだことは、広い視野から物事を考えることと、自分から積極的に議論を進めていくことが、研究を遂行していく上で、非常に重要なことだと感じました。今回の学会参加は自分を大きく成長させられることができ、貴重な機会となりました。

画像

左：学会会場

右：Union square
のツリー

